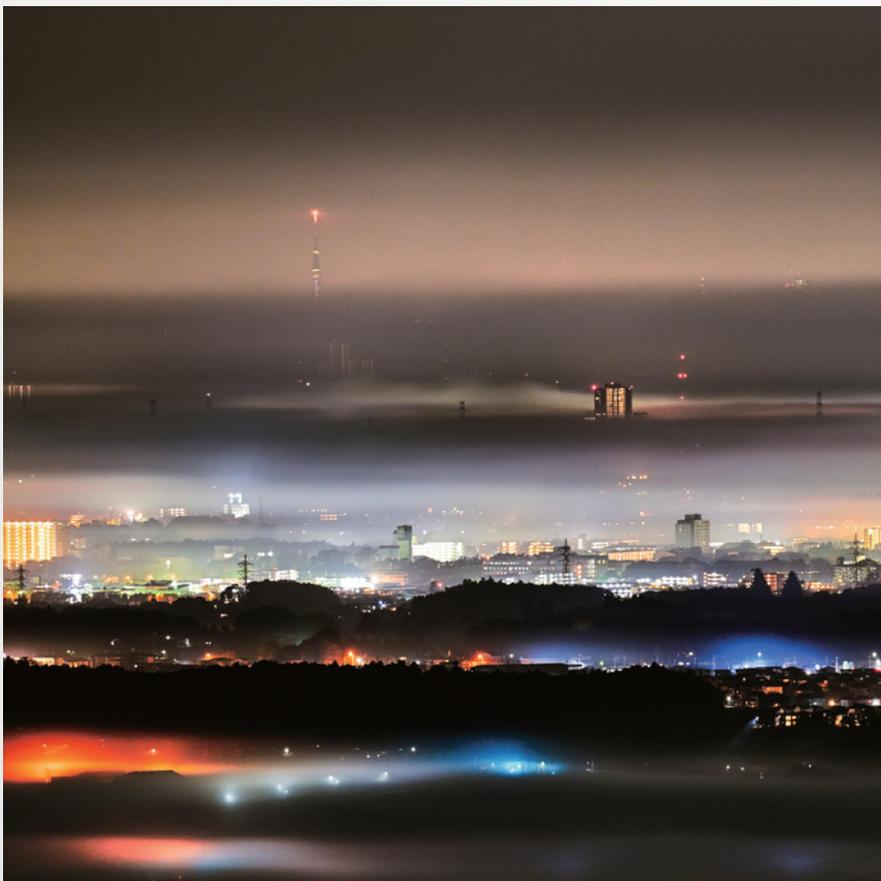


# 茨建協

## ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2026.2 NO.679



いばらき建設  
フォトコンテスト  
2025

Instagram作品 A部門  
最優秀賞  
『夜霧の街とスカイツリー』  
aki052i

### CONTENTS

- 令和8年新春賀詞交歓会を開催
- 12支部長が新年の抱負
- 国や県とDX体験会
- CCI茨城が建設体験学習

# 新たな年に大きな飛躍決意

## 令和8年 新春賀詞交歓会を開催

本会は1月9日、茨城県建設技術管理センター、茨城県建設業協同組合と共に令和8年の新春賀詞交歓会を水戸市の水戸京成ホテルで開催しました。来賓として大井川和彦県知事や本県選出国會議員、県議會議員、県幹部職員、県内建設関連各団体の代表など約280人が出席し、大きな飛躍の年とすることを決意し合いました。



石津会長



さらなる発展を誓い乾杯しました

主催者あいさつで石津健光会長は、資材価格や人件費高騰など、厳しい状況が続く中でも、全国で多発する自然災害や高病原性鳥インフルエンザなどに対し、「社会資本の整備や維持管理のみならず、即座に対応を担う『地域の守り手』という地域建設業の役割が増大している」と述べました。

また「社会的使命を果たすためには会員、関連企業が適切な利潤を確保し、経営基盤の強化を図ることが不可欠。公共事業を円滑に執行しながら喫緊の課題である担い手の確保・育成、働き方改革、DXへの対応を進める」としました。

そのほか、建設業法や取適法（中小企業受託取

引適正化法）の改正に触れ、「業界で働く方々の賃金上昇、処遇改善、価格転嫁を早期に実現できるよう取り組む」と語り、「本県が目指す『活力があり、県民が日本一幸せな県』の実現へ、社会資本の整備や県民の安心・安全の確保を関係者の皆さまとしっかりと支えてまいりたい」と決意を示しました。

来賓からは、大井川知事や本県選出の国會議員、県議會議員などが祝辞を披露。本県の発展に期待を寄せました。

その後、高橋靖水戸市長の発声で乾杯。本年のさらなる飛躍を誓い合いました。

# 賀詞交歓会 来賓から祝辞

本会の前進に期待の声



大井川和彦 茨城県知事

活力があり、県民が日本一幸せな県の実現を目指し、将来の発展を見据えたインフラへの投資や、災害に強い県づくりに取り組む。皆さまと『新しい茨城』づくりに全力で取り組む。



館静馬 茨城県議会議長

資材価格高騰や慢性的な人手不足といった課題は多い。福利厚生 の充実やDX化などの取り組みは経営がしっかりしなければ。県議会としても建設業を守るため一丸となって活動する。



田所嘉徳 衆議院議員

高市内閣の積極財政でインフラ整備に力を入れている。安全な社会づくりへの貢献に、皆さまの更なる活躍をお願い申し上げます。



永岡桂子 衆議院議員

皆さま方が持っているエネルギーを今年は茨城県のために使っていただきたい。国土強靱化と災害対策に、私たちも皆さま方が働きやすい環境をつくるため、しっかりと予算を確保したい。



国光文乃 衆議院議員

県内でもスマートインター4つの事業が進み、長年の悲願であった国道6号の整備もあと少しとなった。地元の期待に応えられるよう全力で取り組む。



加藤明良 参議院議員

DXやGX、さらには人材育成など、さまざまな部分で、ご尽力をいただかなければならない。皆さまと連携し、働きやすい環境整備のために精一杯、働いていく。



上月良祐 参議院議員

国土強靱化予算を含め予算をしっかりと確保する。予定価格をしっかりと的確に引き上げる、それに加えて最低制限価格など、さまざまなものを見直して、的確に発注を改革していきたい。



佐藤信秋 元参議院議員

茨城県の賃金水準は全国で3番目。これらから一番になっていただくよう頑張ってください、ぜひ建設産業の賃金も一番となるよう、少しでも皆さまのお役に立ちたい。



海野透 県議会議員  
(自民党いばらき県連会長)

皆さま方が心一つにして、この困難な時代、時期を県民の幸せのため、社会資本、インフラの整備のため、なお一層、がんばっていただけるように期待する。

12支部長が  
今年の抱負

## 会員の力結集し有益な事業推進

水戸支部

田口恵一郎 支部長



会員の迅速な行動で地域の守り手としての責務を果たせた。厳しい社会情勢が続く中、会員の力を結集し、地域貢献と会員の利益につながる事業活動を進めたい。

潮来支部

松崎里志 支部長



皆さんのおかげで昨年支部の運営ができた。今年も働き方改革、若手の雇用促進と、さまざまな課題に、一つ一つ取り組んでまいりたい。

太田支部

梅原基弘 支部長



社会資本の整備、自然災害への対応など、地域の守り手としての社会的使命が増大。激動の波の中でも永続する企業であるため経営基盤の強化に努めてほしい。

竜ヶ崎支部

細谷武史 支部長



培った経験と知恵を生かし、若手が安心して入職できる職場環境づくりに努めてほしい。干支の丙午にちなみ、動くことでチャンスをつかむ年にしてほしい。

常陸大宮支部

高野潔 支部長



良いものをつくるため各社が努力している。IT技術が日進月歩する中、支部も各種講習会等を開催したい。令和8年度が素晴らしい年になるよう祈念する。

土浦支部

小林伸行 支部長



皆さんと研修会などで研さんを重ねながら、地域の安心安全を守る協会として活動してまいりたい。これまで以上に皆さんのご支援ご協力をお願いしたい。

大子支部

大藤博文 支部長



建設業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しているが、地域の守り手としての役割を改めて認識し、支部が一丸となってさまざまな課題に取り組んでいきたい。

筑西支部

白田唯雄 支部長



ICTなどによる施工管理現場の増加など、急激に変化する現場環境への対応や、若い担い手の確保などに対して、会員企業と一丸となって取り組みたい。

高萩支部

秋山光伯 支部長



県出先事務所で高萩が土浦に次ぐ2番目の規模となるなど、地域に活気を呈している。新年度に向け、無事故での取り組みをお願いしたい。

常総支部

中川原勇 支部長



資材高騰や人材確保育成など課題は多いが週休2日制やICT技術向上など皆さん良くやってくれている。これからも意思疎通を図りつつ支部運営を行いたい。

鉾田支部

羽生義隆 支部長



担い手の確保・育成を最大の課題と捉え、働き方改革や生産性の向上、イメージアップに取り組む。今後も地域貢献活動を通してながら建設業の重要性を訴える。

境支部

新井孝 支部長



働き方改革やICTへの対応、熱中症対策など課題が多い。今後も一層のご協力をお願いしたい。今年は外国人労働者受け入れの説明会なども実施したい。

## 県発展の使命を胸に飛躍 舗装部会が賀詞交歓会

本会の舗装部会（秋山光伯部会長）は1月15日、茨城県アスファルト合材協会（鈴木一良会長）と合同による新年賀詞交歓会を水戸ドライブインひたちの里で開催。秋山部会長は「経済発展の礎をわれわれが担ってきたと言っても過言ではない。これからも県発展のため頑張ってもらいたい」とあいさつ。社会基盤づくりの責任と使命を胸に、本年のさらなる飛躍を祈念しました。



## 先端技術や事例学ぶ 国や県とDX体験会「応用編」

本会（石津健光会長）は1月20日、茨城県土木部検査指導課（長山公信課長）および国土交通省国土技術政策総合研究所（佐藤寿延所長）と、DX体験会「応用編」をつくば市の国総研建設DX実験フィールドで開催しました。DX活用に関心のある事業者ら約40人が参加し、活用事例を学んだほか、最先端のICT建設技術を体感しました。



## 公共事業費は5.2兆円 国交省の令和8年度予算案

国土交通省の令和8年度予算案は、国費総額が一般会計で6兆748億7900万円（前年度比約1221億円増）。東日本大震災の発災以降では最大規模で、初の6兆円突破となりました。うち公共事業関係費は5兆2950億4900万円（同比約198億円増）。

公共事業関係費のうち、一般公共事業費は5兆2513億円で同比177億円増。災害復旧等は437億円で同比21億円増。財政投融资には1兆3709億円を配分。

令和8年度予算案は①国民の安全・安心の確保②持続的な経済成長の実現③個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり—の3本

柱とし、令和7年度補正予算と合わせて切れ目なく取り組みを進めます。

主な事業費として、▽流域治水の加速化・強化=6388億円▽盛土の安全確保対策=8529億円▽インフラ老朽化対策による予防保全型インフラメンテナンスの実現=8673億円▽防災・安全交付金=8529億円▽通学路等の交通安全対策=1968億円▽効率的な物流ネットワークの早期整備・活用=3522億円▽社会資本整備総合交付金=4597億円▽住宅・建築物の脱炭素化対策の強化=1038億円▽地域・拠点の連携を促す道路ネットワーク整備=3733億円▽港湾整備=1334億円—などを計上しました。

## 全市町村でダンピング対策 国交省 第三次・全国統一指標の目標

国土交通省は「第三次・全国統一指標（令和7年度～）」の新たな基準値・目標値を決定しました。茨城県内では閑散期、繁忙期の平準化を図るほか、ダンピング対策として11年度までに全市町村での低入札価格調査基準または最低制限価格の導入を目指します。6月に国交省が決定した

第三次・全国統一指標に、これまでの取り組み結果を踏まえて決定。関東独自で「情報共有システム（ASP）の導入状況」や「工事書類の簡素化」についても目標値を設定し、全機関での達成に努めます。

第三次・全国統一指標 関東甲信越地区 各都県の目標値

県域	地域平準化率（県域単位）				週休2日達成		低入札価格調査基準または最低制限価格設定	
	閑散期ボトムアップ		繁忙期ピークカット		基準値 (24年度)	目標値 (29年度)	基準値 (24年度)	目標値 (29年度)
	基準値 (24年度)	目標値 (29年度)	基準値 (24年度)	目標値 (29年度)				
茨城県	0.66	<b>0.80</b>	1.09	<b>1.00</b>	1.00	<b>1.00</b>	0.85	<b>1.00</b>
栃木県	0.69	<b>0.80</b>	1.14	<b>1.00</b>	0.93	<b>1.00</b>	0.98	<b>1.00</b>
群馬県	0.68	<b>0.80</b>	1.10	<b>1.05</b>	1.00	<b>1.00</b>	0.98	<b>1.00</b>
埼玉県	0.67	<b>0.80</b>	1.13	<b>1.00</b>	0.99	<b>1.00</b>	0.95	<b>1.00</b>
千葉県	0.67	<b>0.80</b>	1.13	<b>1.00</b>	1.00	<b>1.00</b>	0.95	<b>1.00</b>
東京都	0.77	<b>0.80</b>	1.05	<b>1.00</b>	1.00	<b>1.00</b>	0.87	<b>1.00</b>
神奈川県	0.73	<b>0.80</b>	1.14	<b>1.00</b>	0.89	<b>1.00</b>	0.98	<b>1.00</b>
山梨県	0.72	<b>0.80</b>	1.09	<b>1.00</b>	0.97	<b>1.00</b>	1.00	<b>1.00</b>
長野県	0.77	<b>0.80</b>	1.05	<b>1.00</b>	1.00	<b>1.00</b>	0.92	<b>1.00</b>
新潟県	0.77	<b>0.80以上</b>	0.90	<b>1.00以下</b>	0.94	<b>1.00</b>	0.93	<b>1.00</b>

県域：各都県管内の都県、政令市、市区町村発注の工事を足し合わせて算出（週休2日は都県と政令市のみ）

### 太田支部 活動報告

## 県と合同 パトロール



太田支部（梅原基弘支部長）は1月20日、合同での安全パトロールを茨城県常陸太田工務事務所（栗原栄所長）と実施しました。事務所若手職員や支部会員など約30人が参加し、架け替えを進めている竹合橋（大方町地内）の現場において、管理体制や災害防止などの取り組みを確認。梅原支部長は「安全確認を徹底し、現場全体の意識を高めてほしい」と述べました。

### 大子支部 活動報告

## 管内5カ所を 合同巡回



大子支部（大藤博文支部長）は1月26日、今年度第2回となる合同パトロールを茨城県大子工務所（寺門正裕所長）と実施しました。工務所幹部と支部員計7人が、管内の工事現場5カ所を巡回し、労働災害や事故の未然防止に向けた安全管理を徹底。大藤支部長は「今回の結果を生かし、年度末から新年度にかけて、支部一丸となって事故防止に取り組んでいく」と語りました。

**建設業労働災害防止協会茨城県支部 令和8年度4月～6月講習会開催予定表**

月	日		曜日		講習名	会場	備考
4	2	3	木	金	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	8		水		小型車両系建設機械	建荷協研修センター	(学科)
	9		木				(実技)
	10		金		建設業における化学物質管理者講習	茨城県建設技術研修センター	
	14		火		刈払機取扱作業	建荷協研修センター	
	15		水		建設業等における熱中症 予防指導員・管理者研修	鹿嶋市商工会館	
	16	17	木	金	工作物石綿事前調査者	茨城県建設技術研修センター	
	20	21	月	火	玉掛け	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	22		水				(実技)
	22	23	水	木	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
24		金					
5	12	13	火	水	足場作業主任者	鹿嶋市商工会館	
	18	19	月	火	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科) (実技)
	20		水				(実技)
	29		金		建設業等における熱中症 予防指導員・管理者研修	境支部会館	
6	2	3	火	水	型枠作業主任者	建荷協研修センター	
	4	5	木	金	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	8		月		建設業等における熱中症 予防指導員・管理者研修	茨城県建設技術研修センター	
	8	9	月	火	工作物石綿事前調査者	筑西支部会館	
	11	12	木	金	職長・安全衛生責任者教育	鹿嶋市商工会館	
	17	18	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科) (実技)
	19		金				(実技)
	22	23	月	火	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	石下建設会館	
	24		水				
	23		火		建設業等における熱中症 予防指導員・管理者研修	筑西支部会館	
29	30	月	火	木造作業主任者	茨城県建設技術研修センター		

## 4月1日から改正

## 中間検査の対象建築物等

茨城県建築指導課は、中間検査の対象建築物、および対象となる指定する特定工程等を改正します。4月1日以降に確認申請を行う建築物から適用されます。木造住宅で、地階を除く2階以上または床面積の合計が200㎡を超えるもの。木造

住宅以外では地階を除く3階以上または床面積の合計が500㎡を超える建築物が対象。W造の場合、屋根の小屋組工事および構造体力上主要な軸組工事が、指定する特定工程となります。

## 龍ヶ崎中で倉庫引渡式

CCI茨城



本会も加入している茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）は昨年12月23日、龍ヶ崎市立龍ヶ崎中学校（五十嵐淳校長）で木造倉庫引き渡し式を開催しました。倉庫建設を体験した1年生109人が、学びを振り返りつつ倉庫の完成を祝いました。本会龍ヶ崎支部の細谷武史支部長は「将来一緒に仕事をする仲間となることを期待する」、建設未来協議会の櫻井俊一会長は「協議会が実施している出前授業にも参加してほしい」と呼び掛けました。

## 事業進捗を確認

建女ひばり会 幹事会



本会の建女ひばり会（海老根香織会長）は1月23日、水戸市の協会本部で幹事会を開き令和7年度事業の進捗状況を確認しました。今年度は会員交流会や東海第二発電所などで勉強会・研修会、栃木県建設業協会と意見交換会などを実施。そのほかInstagramを活用した広報活動などを確認し合いました。

## 会員の動向

〈代表者変更〉

▽土浦支部

植村建設(株) 植村 和徳 → 植村 裕人

知ってほしい、より安心の制度  
法定外労災 建設共済保険  
補償制度

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

お問い合わせ

公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>